



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

- 国際主題 Once More We Stand 心新たに立ち上がろう
アジア区主題 Once More We Stand 心新たに立ち上がろう
西日本区主題 飛翔たとう ワイズスピリットを胸に 泰然自若の精神で
京都部主題 ワイズにビジョンを、思いやりと共に ~世界のワイズが輪になって~
メネット主題 「愛の心」 ~原点に立ち返って私たちに出来ること~



もし人を赦(ゆる)さないなら、あなた方の父もあなた方の過(あやま)ちをお赦(ゆる)しにならない。

マタイによる福音書第6章15節



「動かなければ友に近づけない」

大阪河内クラブ会長 大谷美佐子

伝統ある京都プリンスクラブのブリテンに寄稿させていただくことに戸惑いと喜びを感じております。昨年横浜国際大会におきましてロシア区・Ozelki St.-Petersburgクラブと河内クラブでIBCの締結を致しました。そこに至る物語は偶然の出会いでした。8年前から河内クラブで英文のホームページを「ITO NOTE」と名付け世界へ発信していました。Y's men's Worldの編集長、Alan Wallingtonにもホームページを送っていましたが、彼は多くのロシアのワイズメンにもホームページを転送していました。「ITO NOTE」には河内クラブの出来事や日本の行事そして風景、四季折々の花の写真が配信されていました。ホームページを観た世界のワイズメンは日本の異文化に触れ強烈な印象を持たれたと思います。世界のワイズメンから感想が寄せられ多くの海外のワイズメンとの交流を深めて参りました。その内の一人がロシアのワイズメンDR, Azaryan Olgaでした。彼女とは以前から伊藤圭介メンがメールで交流していましたが、親密の度合いが年々深まり2007年の秋に招待しました。10日間の滞在でしたが、DR.Olga(乳癌、皮膚癌の専門医)の謙虚で明るい人柄に触れ益々ロシアのワイズメンとの“距離”が縮まりました。翌2008年にMiss.Tatyana Smagina(Yekaterinburg Club)を続いて河内クラブに招待しました。2009年には伊藤 圭介、丸尾 欽造メンがロシアを訪問しさらに信頼を深め心の交流へと蕾が膨らんで行きました。

今期国際大会という土壌を与えられ一気に花を咲かせ実を結んだと云うとても嬉しいことでした。国際大会閉会後26人のロシアの皆さんを河内クラブへ招待した折「多くのクラブと交流して頂こう」との願いから河内クラブでの歓迎会では沢山のクラブの皆様にご参加いただきました。偶々河内クラブは35周年を迎えていましたので、記念会も併せて持ちロシア、アメリカ、そして日本のワイズメンで国際色豊かな会になりました。

歓迎会の前日は、日本舞踊、茶道を体験頂きましたが、この様子はY's men's Worldにロシアのワイズメンが寄稿され、世界に紹介されています。3日間の滞在では京都、奈良も観光にお連れして、京都のワイズメン、奈良のワイズメンの皆さんとも交流を深めて頂きました。26人のロシアの皆さんはホームステイを通して日本の家庭生活文化も体験され、帰国後もお互いにメールで交流が続いています。

ホームページの他にパワーポイントを用いても今後世界へ日本文化と河内クラブの活動を伝えて行きたいと考えています。IBCを求めての基本コンセプトは「動かなければ友に近づけない」“IT時代では小さな田舎の河内クラブでも世界と結ばれている！”そして「Look World」“世界が見える”

貴クラブがハワイウエストオアフクラブとIBCの締結を進められておられる旨伺っています、達成されます事お祈りしております。ロシアのワイズメンは約430人。ロシア区で4部あります。

強調
月間

EF・JWF

個人や家族やクラブなどでの色々なハッピーニュース、ラッキーニュースを記念して、ワイズダム発展のために献金しましょう。

杉浦 英 ファンド事業主任

会長主題

豊かな心を求めて
YMCAと共に

Restart!
Aim for double

会長 森 伸二郎
副会長 三村 良行
小泉 洋
書記 岡西 博司
会計 永濱 貴章

3月例会案内

2日(水)
プラスワン例会

NHK番組プロフェッショナル「仕事の流儀」にご出演された田村恵子様をお迎えして、演題「生を輝かせる為に」のお話を聞かせていただきます。

16日(水)
通常例会

今期も残り少なくなった通常例会、是非、あなたの友人知人を例会にお連れください。

例会出席

2月第1例会	11名
2月第2例会	9名
在籍者数	15名
出席率	93.3%
前回出席修正	

B Fポイント

切手	Opt
現金	0円
累計	2,930円

ニコニコ

2月第1例会	8,000円
2月第2例会	0円
累計	49,500円

ファンド

	0円
累計	314,4650円



2月第1例会は、本クラブの久保田展史連絡主事による「生きる力わくわく、Y.M.C.Aのキャンプ活動」と題する講演でした。ゲストとして森メネット・森会長紹介の斉藤さまやY.M.C.Aのリーダー6名をお迎えして、華やいだ例会となりました。

講演の概要を以下に述べます。Y.M.C.Aには「Y.M.C.Aキャンプスタンダード」というものがあり、その中にY.M.C.Aキャンプの目的が挙げられています。この中で特に重視されていることとしては、「人格の涵養」と(4)にあげられている「生活を豊かに」そして「生きることを楽しむ」という点だそうです。

昨年の青い空と白い雲キャンプはたいへん暑い中で行われました。参加していた小児ガンの子どもは、体温調節の機能が十分でないために体温が上昇しやすく、キャビンのクーラーが効かないために危険な状況になりました。その際、シートを使ってキャビンの内部の空間を区切ることによって、クーラーが冷やす範囲が狭くなり効きだして、子どもの体温も下がり事なきを得ました。このようにその場でできる中で工夫をして対応していくことは、キャンプの経験を通して培われてきたことだそうです。

今はないのですが久美浜に日本海キャンプ場という所があり、そこで「サバイバルキャンプ」という電気やガスを使わずに7泊8日を限られた用具や食材のみですごすキャンプがありました。初めての子どもはペアで経験者は1人で行動しますが、ご飯作りにはかなりの時間を費やすこととなります。その中で長けている子は、ビニールシートなしで代わりに草でかやぶきのようにしてすごす工夫をするなど、毎年次々に違った目標に挑戦していきました。ある年は水を自分で確保するために井戸を掘り、汲んだ水でご飯を炊いてみると磯臭くてたいへんでしたが、これも工夫して釣った魚を焼き魚にして一緒に食べるとおいしく食べられたそうです。スタッフの危険がないようにとの配慮や見守りの中、さまざまな経験をして成長していく様子が、生き生きと語られました。

2～3年前のスキーキャンプで、2人だけ目にメイクをしてダボダボのジャージをきている子が保護者に連れられて来て、話が違ふといつて親子でもめていたが結局行くことになり、ずっとふてくされて話しかけても応答なしだったそうです。スキー場についても状況は変わらなかったのですが、昼頃1人は打ち解けました。しかしもう1人は友達とは違う部屋に部屋割りされているため、夜30分おきに保護者にメールして一緒にの部屋にしてもらってくれと頼んでいたそうです。それでも部屋は変えてもらえなくて2～3日後には打ち解けて、最後には「親切にしてくれたので楽しいキャンプになった」とみんなの前で謝ったそうです。

「キャンプは人の人生を変えるかもしれない」との言葉がありすごく強い力があるのですが、限定された方にしかきてはもらえなくて、どうしても病気や障害のある子どもの参加は難しいです。病院の小児病棟で過ごす子どもを見かけられて、何かできないかと府立医大病院にリーダーと一緒に行って相談した所、外に出られる子には「青い空と白い雲キャンプ」、出られない子には「ウィズ・キッズ・スマイル」の取り組みが始まります。「ウィズキッズ」の活動は、毎月1回40分小児病棟を訪問して、新品のカヌーを借りてきてプレイルームでのせたり、南観音山の祇園囃子を実演してもらったり、クリスマスには個室訪問してクリスマスの歌を歌ったり、子どもたちに楽しい遊びと季節感をプレゼントするというものです。訪問によって病気をうつしてしまわないように事前に予防接種を必ず受けていて訪問するリーダー1人当たり1万円の費用がかかります。

このような活動には大きな意義があって、青年たちにとって命の大切さを知り自らの人生を考え行動する重要な機会となり、子どもや保護者に笑顔と安らぎが生まれ、支える大人の支援者が現れ、確かな支えとなっている。そして、互いに支えあえる暖かな社会への確かな動きが広がっているとのこと。Y.M.C.Aの活動の意義深さと広がりが生み出す希望を知ることができて、たいへん貴重な時間を過ごすことができました。



東広島クラブからの報告

メンバ - 増強がなかなか思うようにいきませんが、ファンづくりも考えなければと言うことで西条は酒処ですし、メンバ - に酒蔵家もいますので、今テレビなどで話題の酒粕をファンにしてはと話がまとまりつつあります。酒まつりでは、ソフトクリームやおまんじゅうが出されていますが、料理やヨ - グルト・ケ - キもろもろに、その上健康にも良いとなると捨ててはけません。今品切れ状態ですが3月には新酒も出来るそうなのでその節には是非ともよろしく願いいたします。



2月6日(日)しゅうざんボウルに於いて京都部CSチャリティーボーリング大会が開催されました。我クラブからは、廣井ワイズ、三村ワイズ・コメット、三木ワイズ、私が参加しゲームに出たのは廣井ワイズ、三村コメット、私で、三村ワイズは指の関係で写真係を、三木ワイズはCS委員長として応援に来てくれました。

当初受付開始は13:30になっていたのですが、先に行われていた大会が約1時間位延びたので、早く集まっていたクラブからは不満の声が起っていました。それに、三村ワイズは先約があり他のメンバーにも連絡を取ったのですが連絡が取れず一時はどうしようと思ったのですが三村ワイズが先方に連絡をとって頂き何とか間に合う事が出来ました、有難うございました。

た。

いざゲームが始まるとストライク、スペアー、ガーター等、一喜一憂して大変楽しく遊べました、さすが廣井ワイズ、上手ですね。一応プリンスはなんとか100はギリギリオーバーしました。引続きアトラクションが有り、今までと違い今回は目隠しボーリングで、各クラブ2名が出て1名は目隠ししてボールを持ち3回廻って もう1人がレーンに誘導し指示してボールを投げてもらい多くのピンを倒したクラブが勝ち抜けするトーナメント方式で我クラブは3位でした 因みに1位はパレスクラブでした(さすがパレス)。

ようやくゲームも終わり表彰式が始まり我々は賞には関係ないと思い雑談をしていると何処からか聞きなれた声が出てきました。何と・・・私の名前で、頂いた賞は西日本区地域奉仕環境主任賞でした、まさか貰えるとは思わなかったのでびっくり!何かと色々ありましたが? 無事終わる事が出来ました。来年は新しいメンバーも増えていると思います、ボーリングは年齢制限が有りません 老いも若きもどんどん参加しましょう。できればマイマイも参加出来ら良いな~と思います。

IBC締結に向けて

ウエストオアフクラブ訪問

西村 博 ys



去る2月17・18両日、メネットと二人ハワイ区ウエストオアフクラブを訪問した。クワハラご夫妻に笑顔で空港まで出迎えていただき、楽しい交流がスタートした。

17日は、ウエストオアフクラブのクワハラ夫妻、オサコダ夫妻、リンダ夫妻と、ヌアヌクラブのタケナカ夫妻とで、われわれを歓迎しての楽しい歓談の夕食会を開いていただいた。もっぱら昨年日本訪問時の感謝や思い出話等で盛り上がり、今年の訪日を心待ちにいらっしやる様子だった。仕事や体力の問題で訪日できない方々の残念がりようは大変なもので、いつか是非とのお話だった。

翌18日は、ボブさん、ウォルターさんが一日我々のお守り(?)をしてくださり、夜にはウエストオアフクラブメンバー手造りのホームパーティーをクワハラ家にて開催してくださいました。昨日のメンバーに加え4名の参加があり、おいしく食べ楽しく飲んで歓談し、時間があっという間に過ぎていった。そしていよいよ今回のメインイベント、森会長よりのIBCにかかる親書の披露と相成った。ワンダフルな私の英語による読み上げと補足説明で、プリンスクラブ側のIBCに対する思いは十分に伝わったと確信している!あちらのクラブも細かい取り決めはかえって交流の妨げ(というより実現不可能な取り決めになりがち)となるのではとの意向を述べられ、楽しい交流を手始めに今後のあり方を考えていけばとの思いのようだった。また、5月のハワイ区大会の案内も有り可能なら是非起こし下さいとのことだった。

兎も角、6月の西日本区大会での再会と、IBC締結を約して名残を惜しみつつ皆さんとお別れした。いつも思うことだが、本当に親切で暖かいもてなしをしていただき感謝の念でいっぱいである。来日された折には是非プリンスクラブも心からのおもてなしをして差し上げたいものだ。皆さん宜しく!

東京サンライズクラブからの報告

ウチの「すばる」が2月の初め頃から眼をしょぼつかせていたので、毎年このことなので早めに獣医に連れて行き、予防をしていたのですが、ここ2~3日の暖かな気候に、ついに眼が開かなくなってしまいました。そうです、可哀想なことに「すばる」は花粉症なのです。明日はどうしても獣医に連れて行かねばなりません。父親の「多聞」は何ともないのですが、どうも母親からの遺伝のようです。母親も眼をしょぼつかせています。

サンライズの2月の第一例会は「クラブ・シンキング・デイ」として、クラブの抱えている問題を話し合う予定でございました。ところが、司会者が最近仕入れてきた新しいマーケティングの手法でクラブの問題点の検証を行なったため、残念ながらメンバーの中には不完全燃焼の感が残ったようでした。

第二例会は恒例のBF切手切り例会でした。それぞれ、使用済み切手とハサミを持参し、おしゃべりを楽しみながら2時間ほど切手整理に勤しみました。まだ結果は出ていませんが、年々切手の分量は少なくなってきました。そろそろBF切手集めも考え直さなくてはいけなくなってきたようです。象徴的な意味では続ける意義はあると思うのですが、時間対効果に関しては・・・?

私の好きなひと時。それは山の上から下に見える雲、雲海を見る時です。友人や子どもたちと一緒に、自然に触れつつも時には険しく、長い道のりを楽しく歩きます。そしてその先の山の頂上に見晴らしの良さは勿論素晴らしいものがあります。加えて雲が、自分の下に見えて時にはより感動をします。自然の偉大さをあらためて感じる瞬間でもあります。それは決して、飛行機から見る「雲海」では味わえるものではありません。あくまでも自分の足で、時には人と助け励ましあいながら歩いた後に見ることのできる「雲海」でしか感じることはできません。

この春も、多くの子どもたち、リーダーや専門学校の学生が巣立っていきます。YMCAの活動を通して、自分自身の足で歩いてきた青年が、社会と自分の可能性に期待を膨らませてとびたっていきます。それぞれの道の先には素晴らしい景色が待っていることを願っています。お支えいただきましたことに感謝するとともに、引き続き、次に繋がります青年たちも、励まし育てていただきますようお願いいたします。

1. 2010年度卒業生リーダー祝会のお知らせ

今年も多くの少年リーダーが社会に巣立とうとしております。YMCAでの活動に捧げていただいた労力と時間は、明日をつくる子供たちの大きな糧となったに違いありません。情熱ある働きに感謝するとともに、YMCAでの経験が今後活かされることを祈ってともに祝いたいと思います。

とき 3月13日(日)
午後2時～5時30分(受付午後1時30分開始)
会場 京都YMCA三本館1階ロビーとマナホール

2. 新年度プログラム募集

子どもたちのウエルネスプログラムの新年度参加者募集中です。ご参加をお待ちしております。

スイミングスクール・体育活動

お申込み・お問合せ 電話075-255-4709

グローバルアウトドアクラブ

お申込み・お問合せ 電話075-231-4388

3. 京都YMCA平和のつどい

韓国併合100年に寄せて

その1 **日本統治時代の教科書展**(朝鮮半島で使われた日本語の教科書展、内地で使われた教科書の並列展示)

3月14日～3月24日 京都YMCA 1階ロビーにて

その2 **日韓平和セミナー**

在日の生き方を通して学ぶ日本社会
講師 朴実氏 3月18日(金)午後7時より
京都YMCA マナホール

日韓関係から見る東アジアの平和について(仮題)
- 日韓の青年を交えてのパネルトーク -

講師 同志社大学教授 太田修氏
3月25日(金)午後7時より 京都YMCA マナホール
主催 京都YMCA 平和の集い実行委員会

4. 京都YMCA第8回発達障がい児理解セミナー

日時: 3月5日(土)午後1時30分～午後4時
場所: ひと・まち交流館 京都2階大会議室
講師・講演 「学校現場での支援」二井弘泰
〔京都府立朱雀高等学校教諭〕 「発達障害の支援はいつまで必要か～“後手の対応”から主体的マネジメントへ」小谷裕実〔花園大学社会福祉学部臨床心理学科教授、小児科医〕 参加費: 1,500円

5. サバエキャンプ場・リトリートセンター夏期利用案内

自然いっぱい心が安らぐサバエキャンプ場・リトリートセンターでは夏期(7・8月)の受付を下記日程で行います。ご利用ください。

サバエキャンプ場
30名以上 3月8日(火) 午前10時～
30名未満 3月9日(水) 午前10時～
リトリートセンター

30名以上 3月9日(水) 午前10時～
30名未満 3月9日(水) 午後2時～
リトリートセンター2011年4月～2012年3月まで
(7・8月を除く)のご利用は只今受付中です。

6. ボランティアセミナーのご案内

『認知症』って何「ぼけ」でも安心して暮らせる社会を

認知症と言う病気は、まだまだ正しく理解されることが少なく、身近な方がかかるまで、知る機会がないのが実情ではないでしょうか。認知症って本当はどんな病気なのでしょう? また、介護する人はどんな心構えでいたらよいのでしょうか? まだまだ誤解の多い認知症という病気について、みていきましょう。

日時 3月12日(土)午後6時30分～8時30分
講師 徳廣三木子氏(社団法人 認知症の人と家族の会 京都府支部 副代表)

場所 京都YMCA(三条柳馬場) 参加費 一人300円

がん患者さんとそのご家族へ

第50回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。
この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日時 3月19日(土) 午後7時～9時
場所 京都YMCA(三条柳馬場) 参加費 一人300円
全てのプログラムに関するお問合せ・お申し込みは
電話(075)-231-4388 FAX(075)-251-0970
E-Mail kyoto@ymcajapan.org(ボランティアセミナー除く)

Happy Birthday

March

7日 西堀 和之
9日 西村 博
16日 三村 良行

今月のスケジュール

3月

2日(水) 第一例会 グランドプリンスホテル
12日(土) 次期会長・主査研修会
～13日(日) 新大阪チサンホテル
13日(日) マイマイ・大文字山トレッキング
リーダー卒業祝会 京都YMCAマナホール
16日(水) 第二例会 グランドプリンスホテル
23日(水) 三役会 会長宅
30日(水) 役員会 京都YMCA

役員会報告

<承認された議案>

西堀ワイズ3月より月会費を広義会員扱いとする件
パレスクラブ40周年記念例会の登録費補助を3,000円とする件